

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	外出や戸外での活動	外出(戸外での活動)の機械を増やし、季節の移り変わりを感じたり、外部との交流を図る	①屋外のベンチを利用し、日向ぼっこやおやつ、茶などを楽しむ (花や野菜の手入れ等の後の一休みに活用する) ②ドライブや外食の機会を設ける(花見・紅葉)	6ヶ月
2		入居者の生活情報等の定期的な家族への報告	訪問時や入居者の特変時だけでなく、日常生活状況の定期的な報告を実施する(日常の事や医療に関することを共有する)	毎月請求書と一緒にその月の生活状況や主治医からのお話などを交えた報告書を同封する	2ヶ月
3		個別援助計画に関する家族との話し合い	①個別援助計画を作成する際、ご家族の具体的なご意見を頂く事でケアサービスの向上を図る ②重度化や終末期に向けた方針の共有	①電話連絡や面会時の報告だけでなく、各々時間をとって協議の場を設ける ②入居者の体調変化の都度、家族との協議の場を設け、終末期に向けた方針の共有を図る	9ヶ月
4	49	おやつの工夫(手作りおやつへ) (市販のお菓子を少なくする) ※家族からのアンケートによる	折に触れ職員と一緒に作り、食べる楽しみや作る楽しみを共有する	①入居者の嚥下状態や体調に合わせた大きさや硬さの物とする ②入居者の要望を取り入れながら、協働で作る	2ヶ月
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。